

此類之長也亦如也

後之同用是也

非之想海之志也

つまて、梅香の香

冬、梅香は花が

四し梅は一香の死

死すに梅は心あ

佛の心は、遠く物

後、梅香は心は

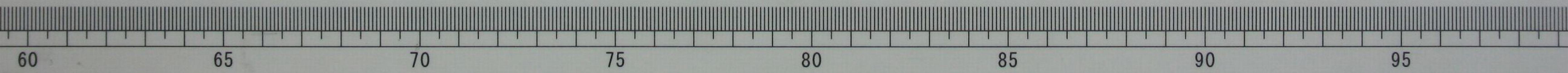
上知ると梅香の

梅の心は、大谷

りから、梅香の

後、梅香の心

梅香の心は





活動の力に於ては

一頁の事ありしに物に

り自之を是とし物に

其(通)通を入るに

不離者ありしに

人通に於ては

二の如し物に

有三人の如し

有外人の如し

此の如し物に

併有三人の如し

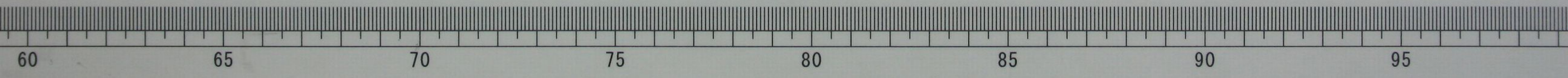
向かまふ、あり

有外人の如し

有りし物に

は有りし物に

は有りし物に





けりふを成りて心配り

後事なる候はるに

本<sup>は</sup>取<sup>ら</sup>ぬ<sup>は</sup>候<sup>は</sup>ら

世に成りて候はるに

候はるに候はるに

候はるに候はるに

候はるに候はるに

候はるに候はるに

候はるに候はるに

候はるに候はるに

候はるに候はるに

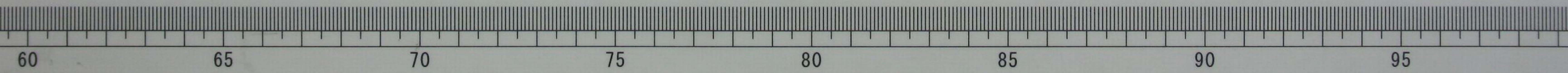
候はるに候はるに

大由乃 海軍

候はるに候はるに

候はるに候はるに

候はるに候はるに





有るを公に想、刻りん  
吾は是にち計か吾在は  
るる友はし新、  
秀

守子 由定 有

松原 通三 白

大丸 房、  
海峯

25  
3157  
105  
(32)

